

校 訓 『 美に挑む 』
学校教育目標 『 自分から ~つながる~ 』
重点目標 『 たくましさ やさしさ 』

田子浦小中一貫教育の前進に向けて

富士山も雪化粧をし、季節はすっかり冬らしくなりました。校区を歩いていても、吐く息が白く見える日が多くなってきました。そのような寒さの中でも、生徒が元気よく登校してきていることを、職員一同とてもうれしく思っています。一方で、市内小中学校においてもインフルエンザ流行の兆しが見えてきました。学校でも、手洗いや換気、マスク着用など感染予防対策には十分注意して行っていますが、御家庭におかれましても、予防対策をよろしく願いいたします。

さて、富士市では今年度から、全小中学校で小中一貫教育が始まりました。本校は、田子浦小学校と共に進めています。これまで、小学校や中学校にはそれぞれの学校文化があり、子どもたちの発達段階に応じた教育活動をしていくためには必要な部分もありますが、そうしたことが、中学校に入学した時に不適應を起こす「中一ギャップ」と言われる問題を生むなどの課題が指摘されてきました。先輩との人間関係の悩み、教科担任制や学習の仕方の違いへの戸惑いなどで心が不安定になることもあります。また、これまで続けてきた6・3制と言われる小中の区切りが、今の子どもたちの成長に合っているのかという課題もあり、小中9年間をひとまとまりと考え、一貫性と系統性のある指導で子どもたちが安心して学習に打ち込める環境づくりを進めていこうとしています。

二校で「目指す子供像」を共有し、学校教育目標を「自分から」に一本化しました。田子浦小中学校では、年間を通して職員の交流を行っています。お互いの授業を参観し合い、学習面や生活面、学校行事等の協議を行う機会を増やしています。教員が、小学校の学習と中学校の学習のつながりを意識し、系統性を大切にした授業を行うことで、子どもたちの学習の充実を目指しています。また、地域とともに足踏みをそろえて子どもたちの成長を見守ることができるように、小中合同学校運営協議会を実施するなど、9年間を通して田子浦地区の子どもたちを育てていこうと研修を進めているところです。今後も一貫性や系統性のある田子浦小中学校を目指して、子どもたちの成長のために、「魅力ある学校づくり」を進めてまいります。

令和6年も残りあとわずかです。今年はどんな1年だったでしょうか。4月からこれまでに振り返ると、学習や友達との関係などうまくいかないこともあったと思いますが、1つ1つ乗り越えようとする生徒たちの姿にたくましさを感じることが多くありました。冬休みは自分自身を今一度見つめ、決意新たに新年を迎えることができるよう、御家庭内でも一緒に考えるような時間をもてるよう御協力をよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。



「小中合同あいさつ活動」の様子